

2013年4月10日

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2012」 『優秀賞』と『優秀企業賞』をダブル受賞！ ～高い省エネ性能と、省エネ住宅の普及活動に高い評価～

株式会社LIXIL住宅研究所
アイフルホームカンパニー

株式会社LIXIL住宅研究所アイフルホームカンパニー（住所：東京都江東区亀戸 1-5-7 / プレジデント：勝又健一郎）では、このたび、一般財団法人日本地域開発センター（主務官庁：国土交通省）が主催する、省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2012」において、アイフルホームの『セシボ』が優秀賞を受賞しました。さらに、3回以上受賞となるため「優秀企業賞」も同時にダブル受賞しました。



「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2012」とは、一般財団法人日本地域開発センターが主催する省エネルギー住宅の表彰制度で、建物の「躯体と設備を一体として捉えた省エネルギー性」の評価を行い、優れた住宅を表彰することで、省エネルギーやCO₂削減などへ貢献する住宅の普及と質的向上を促進することを目指すものです。

アイフルホームの『セシボ』は、「こどもにやさしい は みんなにやさしい」をコーポレートスローガンに掲げ、「キッズデザイン」の考えを取り入れた住宅を提案しています。低炭素社会に貢献することを目的とし、ウインドキャッチャーや通風建具などを活用した、通風・創風の工夫、節湯・節水機器、LED 照明などの省エネ設備の利用、さらには通風シミュレーションの実施などにより、一次エネルギーの使用を抑えた取り組みが高く評価されました。

◆受賞内容◆

制度名	ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2012
カンパニー名	アイフルホーム
受賞名 商品名	優秀賞「セシボ」 ＜受賞対象地域＞IVa地域 (省エネルギー基準値による地域区分)
特別表彰	優秀企業賞

株式会社LIXIL住宅研究所アイフルホームカンパニーは、「こどもにやさしい は みんなにやさしい」をコーポレートスローガンに掲げ、「アイフルホーム」ブランドの住宅フランチャイズチェーンを全国に展開しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

報道関係者：(株)LIXIL 住宅研究所 広報・宣伝部 広報担当：千明(ちぎら)
電話：03-5626-8251
アイフルホームホームページ/TOP URL：<http://www.eyefulhome.jp/>

【参考】

優秀賞受賞 アイフルホーム「セシボ～家族の絆と夢を育む家～」

「セシボ～家族の絆と夢を育む家～（以下、セシボ）」は、「こどもにやさしい は みんなにやさしい」をコンセプトに「全ての世代にやさしい家づくり」を考えて開発した商品です。環境問題、安全性、快適な室内環境、住宅保証、経済性、そして家族の絆と夢など、住宅が解決しなければならない問題を見つめ「家そのもので出来ること」の可能性を“もっとずっと”追求した住まいが「セシボ」です。特に環境問題に対しては、低炭素社会の実現に向け「省エネルギーから“少”エネルギーへ」に向けた提案を行っています。

●閉じる技術 ～高断熱・日射遮熱～

次世代省エネ基準に対応した躯体。すべての窓に遮熱・断熱 Low-E ガラスを設置。さらに屋根にはオリジナル遮熱工法を採用。外気による影響を抑えて冷暖房効率を高めることで快適性と ECO 生活を両立します。

●開ける技術 ～通風・空調負荷低減～

夏の夜の風を室内に有効に取り込み、温度差換気により高窓から排熱。

また、タテスバリ窓を多用し、屋内に風を取り込みやすくします。間取りの開放性、吹き抜けの取入れなど自然の力を活かした通風等で、できるだけ電力を使わない配慮を施しています。

●省エネ技術 ～節湯・節水、省エネ機器の採用～

キッチン、洗面でのエコハンドル水栓、保温浴槽、節水型便器の採用や LED 照明の採用により省エネルギーに配慮しています。

※現在販売している商品とは一部仕様が異なる場合があります。



<アイフルホーム「セシボ」外観イメージ>



<通風・創風イメージ>